

2-1-1 教員の学位や業績

【体育学部】

体育 学 科	名前(読み)	白石 翔 (しらいし しょう)
	職 名	講師
	取得学位	修士(教育学)
	専門分野 研究領域	体育科教育学、体育社会学、スポーツ社会学
	担当授業	「保健体育科指導法Ⅰ・Ⅱ」、「ゼミナールⅠ・Ⅱ」、「インクルーシブスポーツ(球技)」、「卒業研究」、「キャリアマネジメント」他
	研究業績	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「体育科教育2022年5月号」、「発問とその先の合意形成を見通す」、2022、大修館書店、p.34-37(単著) 2. 「小学校体育主任研究会における合意形成パターン：課題分析場面に着目して」、2022、岡山大学教師教育開発センター紀要、第12号、p.87-101(共著) 3. 「コトの共有から広がる児童の思考：小学2年生のマットを使った運動遊びを通して」2022、日本体育科教育学会第27回大会 4. 「甲子園球児にとっての儀礼：球児が高校生に戻るとき」、2022、西日本スポーツ社会学会第27回Web大会 5. 「別れの文化」としての甲子園、2021、日本体育・スポーツ・健康学会第71回Web大会 6. 「高校野球の無観客試合がもたらした応援の喪失経験：競技者のライフヒストリーを手がかりに」2021、西日本スポーツ社会学会、第26回web大会 7. 「COVID-19による高校野球の無観客試合という経験」、2021、日本スポーツ社会学会、第30回web大会 8. 「体育授業における合意形成をめぐる相互行為：アコモデーションとコンセンサスの相違から」、2020、日本教科教育学会誌、42(4)、p 51-62 9. 『体育科教育2020年4号』、「私の研究ノート：体育授業では、どのように合意形成されるのか」、2020、大修館書店(単著) 10. 「体育授業をめぐる問題抽出場面における教師の合意形成：体育主任教諭による協議に着目して」、2019、日本体育学会、第70回大会 11. 「スポーツにおける合意形成：学校体育をめぐる」2019、西日本スポーツ社会学会、第26回大会 12. 「ボールの大きさや重さが幼児の目標投に及ぼす影響について」、2019、環太平洋大学研究紀要、p43-p49(共著) 13. 「体育授業における『合意形成』をめぐる理論的検討」、2018、日本体育学会予稿集、p256(共著) 14. 『体育科教育4月号』、「思考力・判断力・表現力等の育成と授業のスタンダード化」、2018、大修館書店、p.26-p.29(共著)
	所属学会 学会活動	日本体育・スポーツ・健康学会、日本体育科教育学会、日本スポーツ社会学会、日本教科教育学会、全国体育学習研究会
社会貢献	岡山県小学校体育連盟研究部、岡山県小学校体育連盟井原支部、岡山県小学校体育連盟小田支部、全国体育学習研究会委員	